

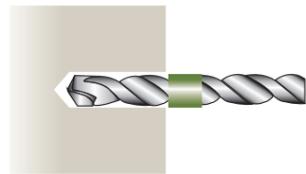
手順・確認事項



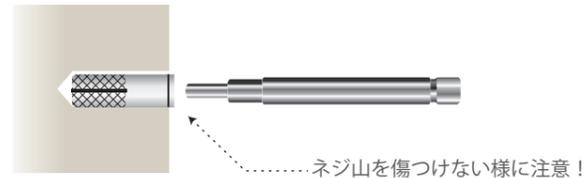
1 アンカーを打ち込む

アンカーとアイボルトの種類・サイズを選択は、M6サイズを基準に、下地の強度やネット・ワイヤーの種類により決定します。

①ドリルで適切な径と深さの穴をあける。



②打込棒を使いアンカーを固定する。



2 アイボルトを取付ける

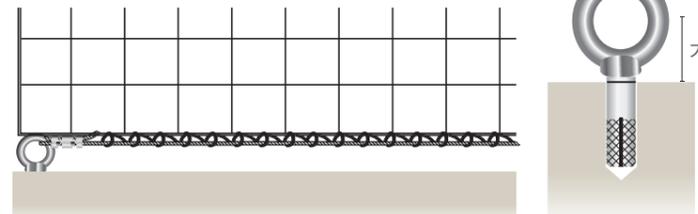
設置したアンカーに適応したアイボルトを取り付けます。防鳥ネットの取り付け方（編み込み or ホグリング使用）等により最適なアイボルトを選択します。

①アイボルトをアンカーへネジ込み固定する。



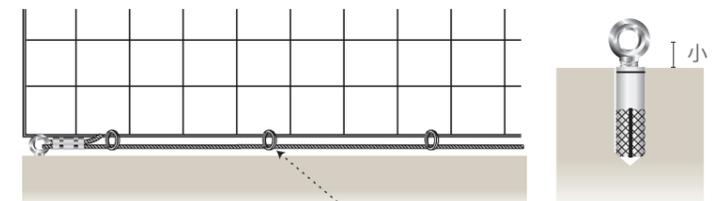
〈アイボルト〉

・ネットを編み付ける場合には〈アイボルト〉を使用し指の入るスペースを確保する。



〈ワイヤー専用アイボルト〉

・ホグリング※で結束する場合は、下地とワイヤーの隙間をより少なくする為に〈ワイヤー専用アイボルト〉を使用する。



>>CHECK

ホグリングを使って額縁ワイヤーとネットをホグリングで結束します



1



2



関連資材

手順・確認事項

1 クランプ金物の選定

下地がH形鋼やC形鋼、Lアングルなどの場合、クランプ金物を支持部材として使用します。
フランジの厚さを確認して、適合するクランプ金物を選択します。

〈パイラックシリーズ〉

素材は〈溶融亜鉛メッキ〉の他、〈電気亜鉛メッキ〉〈ステンレス〉を取り扱っています。

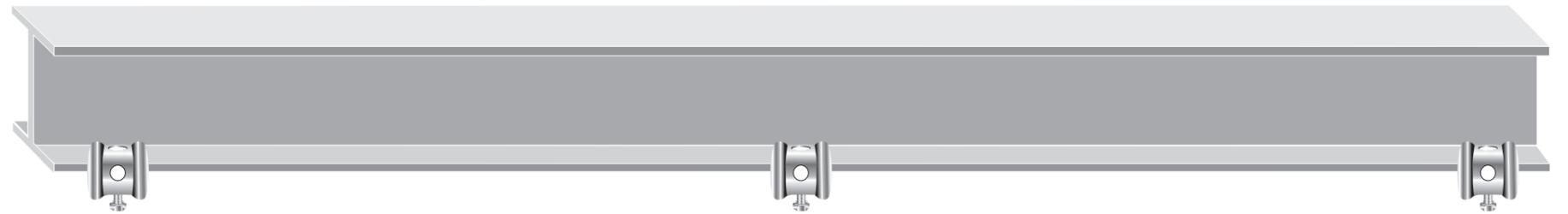
〈クランプ（H形鋼用）〉

H形鋼用専用のクランプ。SUS304。



2 クランプ金物の取付

振動による脱落防止としてのダブルナット固定や、張力による滑り対策としてはクランプの2個付けなどで対処します。



1



〈パイラックシリーズ〉

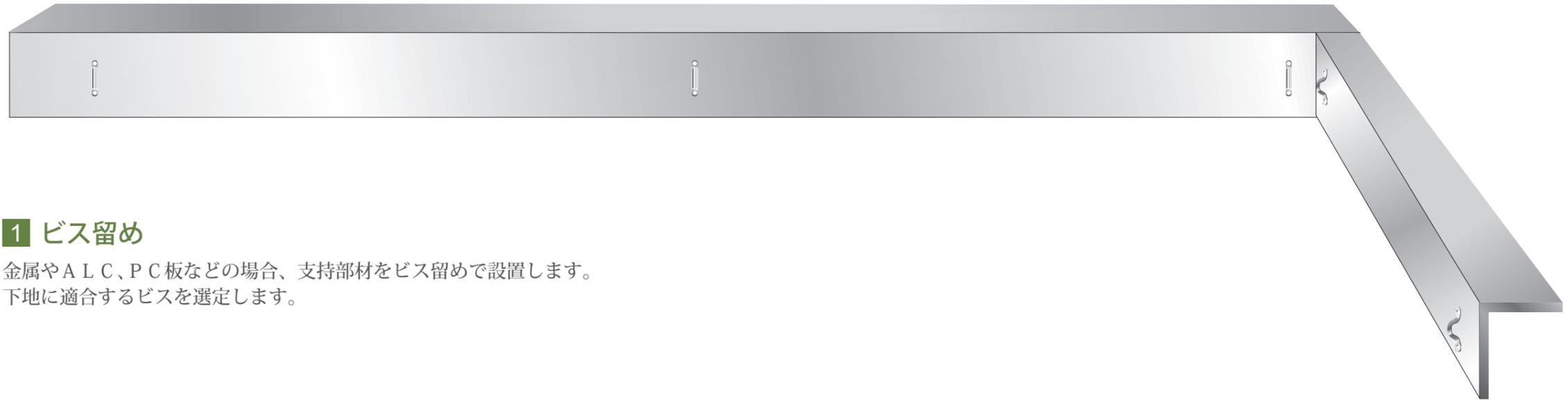
- Z-PH1S 適合フランジ厚:3 ~ 12 ボルト径:M6×25
- Z-PH1 適合フランジ厚:3 ~ 16 ボルト径:M6×25
- Z-PH1W 適合フランジ厚:9 ~ 24 ボルト径:M6×25
- Z-PH2W 適合フランジ厚:17 ~ 32 ボルト径:M8×30
- Z-PH3W 適合フランジ厚:17 ~ 45 ボルト径:M8×45



〈クランプ（H形鋼用）〉

- クランプ 15(H形鋼用) 適合フランジ厚:~ 15 ボルト径:M12
- クランプ 37(H形鋼用) 適合フランジ厚:~ 37 ボルト径:M18

関連資材



1 ビス留め

金属やALC、PC板などの場合、支持部材をビス留めで設置します。
下地に適合するビスを選定します。

〈シートアイストラップ〉 / 〈アイストラップ〉

アイストラップには〈左：シートアイストラップ〉と
〈右：アイストラップ〉の2種類を用意しています。



〈カップリング〉

小口開口部（幅や高さが2m以内）などへの
防鳥ネット・ワイヤー支持に広く使用されています。



額縁ワイヤーやネット目糸、縁ロープなど
を通して固定ができる

手順・確認事項

1



〈シートアイストラップ〉



〈アイストラップ〉



〈カップリング〉



ピアスビス



ALCビス



コンクリート用ビス

関連資材

手順・確認事項

1 接着留め

金属やRC、タイルなどの場合、支持プレートは接着で設置します。接着剤はプレートと下地の材質、設置環境で選定します。

① 接着プレートの取付

- ・取付ピッチは、500 mm以下を基準とします。
- ・端部やコーナー部には、ビス止めを併用します。

② 設置面の処理

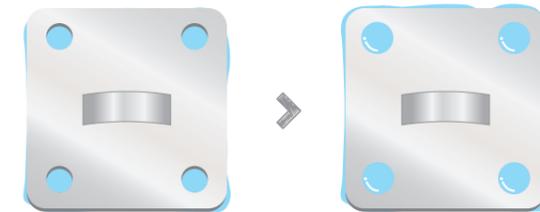
- ・接着面が塗装をしている場合は、その箇所を下地の表面まで削り取り、目荒しを施します。

③ 接着剤を塗布

- ・接着剤をプレートの裏面にまんべんなく塗布します

④ 取付

- ・接着用プレートの穴から接着剤が出てくるまで押し付けるように固定させる。



端部やコーナーはビス留めを推奨します



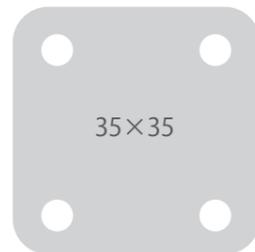
1

〈超軽量ステンプレート〉

SUS304 / 裏面明荒し加工
 ステンレステーブ貼付済み
 35×35×t0.8 / 孔径：4.5φ / 重さ 7.5g
 1.5φ・2.0φワイヤー対応



裏面



35×35

〈ABS樹脂プレート〉

ABS樹脂 45×45×t2.0
 1.5φ・2.0φワイヤー対応



裏面



45×45

〈エフレックスボンド〉



〈ボンド多用途屋外用〉



〈ハイクイック接着剤〉



関連資材

1 額縁用ワイヤーの選定

額縁用ワイヤーは、線径 1.5φ/2φ/3φ/4φ の 4 種類からネットの種類や重量、支持部材間の距離などを考慮して選定します。

《アイボルト留め》



コンクリート部

《クランプ留め》



H鋼部

《ビス留め》



金属パネル部

《接着留め》



金属パネル部

2 固定する部材

線径 1.5φ と 2φ の場合は〈ワイヤー固定具〉、3φ 以上は〈ワイヤークリップ〉を使用します。



1.5φ と 2.0φ は〈ワイヤー固定具〉で 2箇所かしめる



3.0φ 以上は〈ワイヤークリップ〉で 2~3カ所を固定する

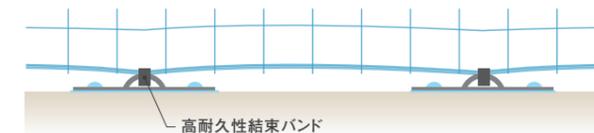


〈ターンバックル〉を使用するとワイヤーの張りを調整できます



>>CHECK

額縁用ワイヤーを使わない場合はプレートの取付ピッチは 300mm が基準。
高耐久性の結束バンドで固定します。



高耐久性結束バンド

【推奨】ヘラマンタイトン社
インシュロック
ガルバロックシリーズ

手順・確認事項

1



〈額縁用ワイヤー〉 2φ が基準。他に 1.5φ / 3φ / 4φ。

2



〈ワイヤー固定具〉



〈ワイヤークリップ〉



〈ターンバックル オーフ〉

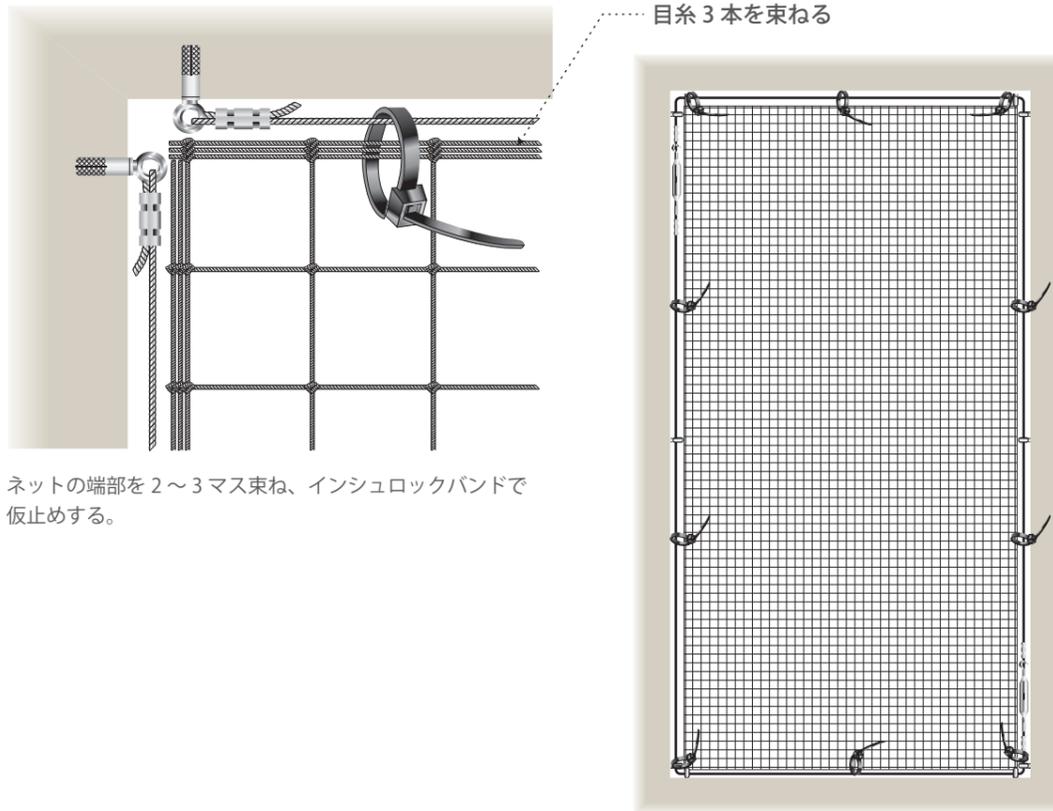


〈ターンバックル オーフ&ハッカー〉

関連資材

1 防鳥ネットの仮止め

まずはインシュロックバンドを使って額縁用ワイヤーンに防鳥ネットを仮止めしていきます。



ネットの端部を2～3マス束ね、インシュロックバンドで仮止めする。

上図のように額縁用ワイヤーンに仮止めします。

2 防鳥ネットの設置

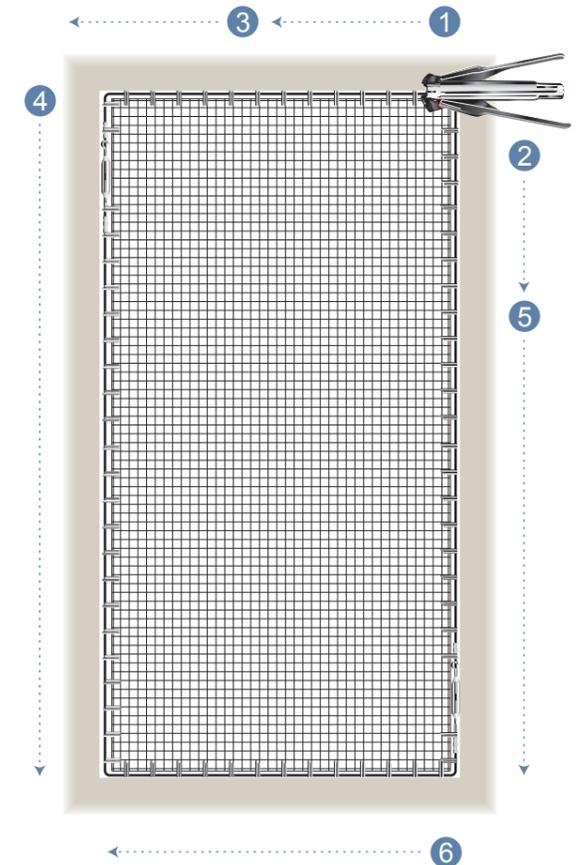
ひとつの角から結束をしはじめ、防鳥ネットにテンションを掛けながら順を追って設置していきます。

>> 有結節タイプのネットをホグリンガーで設置



2～3マス（6～100mm間隔）ごとにホグリングで額縁用ワイヤーンと防鳥ネットを結束する。

※無結節タイプのネットは編み込みで設置します



番号順のように設置していきます。

手順・確認事項

関連資材



〈ホグリンガー〉



〈ホグリング〉



〈ポリエチレンロープ〉
4mm・6mm。防鳥ネットの編み込み用



インシュロックバンド